

和小屋組み(わごやぐみ)

「小屋組み」は、屋根の構造主体となる骨組みのこと。組立方法から、和小屋組みと洋小屋組みに大別されます。

和小屋組みは、小屋梁に屋根勾配に応じた小屋束を載せ、棟木及び母屋をかけ渡し、垂木を取り付ける方式を言います。切妻屋根、寄棟屋根など梁間の小さい建物に用いられます。

洋小屋組みは、比較的細い部材を三角形に組んでトラスを構成する方式です。屋根荷重や風にも強い構造です。

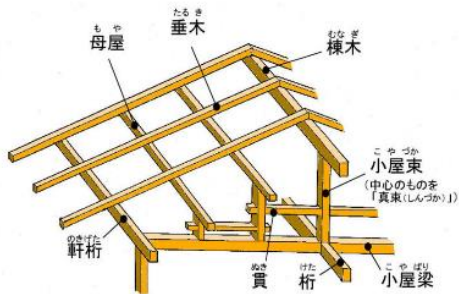
「ブリタニカ国際大百科事典」より抜粋



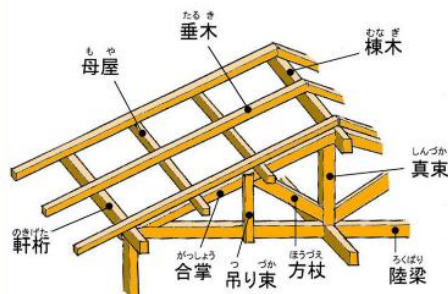
桐生からくり人形芝居(きりゅうからくりにんぎょうしばい)

桐生からくり人形芝居は江戸初期、寛文2年(1662)に始まった竹田出雲のからくり芝居の系譜をひくものです。明治27年(1894)天満宮御開帳に江戸浅草奥山の竹田縫之助の活き人形からくり人形芝居が興行されました。当時、江戸の風情は明治の東京ではなくなりつつあり、その名残を受け入れたのが桐生でした。各町会が昭和36年(1961)までに6回、天満宮の御開帳時に上演していた「からくり人形芝居」を、平成11年(1999)に復元・復活させました。

有鄰館内「桐生からくり人形芝居館」で、毎月第一・第三土曜日に上演しています。



和小屋組み



洋小屋組み

